

2020年4月16日

報道関係者各位

イスクラ産業株式会社

中国・武漢で治療に従事した張伯礼医師を囲んで Web 交流会「COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の予防と治療 における中医学の対応について」を開催

昨年末に発生し、世界に感染が拡大している COVID-19（新型コロナウイルス感染症）は、日本においても感染者の急増に伴い医療供給体制の逼迫などすでに課題が浮き彫りになっています。今回、感染症発生直後いち早く武漢の医療現場に赴き、2ヶ月に亘り 1000 人以上に中医学による治療を実践されてきた中国工程院院士であり中国中医科学院名誉院長・天津中医薬大学学長の張伯礼（ちょうはくれい）医師を講師に迎え、日本の医師、薬剤師や漢方・中医学専門の医療従事者による Web 交流会が開催され、約 730 名が参加しました。

2020年4月11日（土）、日本時間 19時00分から約2時間に亘り、日本中医薬研究会主催による Web 交流会「COVID-19 の予防と治療における中医学の対応について」が開催されました。協賛としてイスクラ産業株式会社（本社所在地：東京都中央区、代表取締役：吉田由美子、陳志清）は、司会進行、通訳などを担当しました。

交流会では、冒頭でゲストとして参加される金沢大学附属病院漢方医学科臨床教授小川恵子氏をはじめとする医師や薬剤師らが紹介され、その後、張伯礼氏からパワーポイントを用いて武漢での治療経験について講義が行われました。

講義では、COVID-19 について中医学の視点から詳しく解説がなされ、「湿邪（しつじゃ：体内に過剰になっている不要な水分など）」が特徴で、「毒」が基本病機となっている「湿毒症（しつどくえき）」に属するもので、病位は主に肺・脾を犯し、他臓腑にも影響を及ぼす疫病であるとお話しになりました。また、「湿毒症」に対応する方剤や、張氏が診察にあたった患者の漢方薬治療の経過などについてもデータを用いて詳しく解説され、現代医学に中医学を取り入れた中西医結合の治療により、軽症患者の重症化率、重症患者の症状軽減と死亡率において、顕著な効果があったということが示されました。

講義の後、ゲスト参加者を交えた質疑応答では、中国で主に使用され、漢方薬併用群と非併用群の比較で症状の軽快や重症化抑制などにおいて有意な差が認められた「清肺排毒湯（せいはいはいどくとう）」「連花清瘟（れんかせいおん）カプセル」「金花清感顆粒（きんかせいかんかりゅう）」「血必浄（けつひつじょう）」などの薬について構成などを解析した上、日本で入手可能な漢方薬に置き換えて症状改善や重症化予防のための方法などが議論され、「麻杏甘石湯（まきょうかんせきとう）」、「銀翹散（ぎんぎょうさん）」、「藿香正気

散（かっこうしょうきさん）」、「五苓散（ごれいさん）」、「小柴胡湯（しょうさいこう）」、「葛根湯（かっこんとう）」、「玉屏風散（ぎょくへいふうさん）」、「生脈飲（しょうみやくいん）」などでの対応が検討されました。

在日中国大使館領事僑務部参事官兼総領事の詹孔朝（せんこうちょう）氏が交流会に参加され、中日両国の多くの専門家がこのような交流を通して、日本においても中医学の力で新型コロナウイルスの感染を抑制し、人々の心身の健康維持に貢献することを望むと挨拶されました。

最後に、日本中医学会会長で平馬医院院長の平馬氏は、中医学は歴史上、多くの疫病との闘いにより発展が促されてきたこと、そして、COVID-19 は中医学では「湿毒疫」として対応できること、中国の経験を日本の治療において役立てていくことなどをお話しになり、閉会の挨拶とされました。

以上

■Web 交流会「COVID-19 の予防と治療における中医学の対応について」開催の背景

日本中医薬研究会（会長：乾康彦）は、日本全国の薬局・薬店約 1000 店舗からなる組織で、中国の伝統医学であり、現代化が進められている「中医学」（いわゆる中国漢方）を正しく理解し普及を行い、人々の健康増進に尽力する団体です。

この度、世界的に COVID-19 の感染が拡大する中、中国・武漢において 2 ヶ月に亘り 1000 人以上の治療を行った張伯礼氏を招き、治療経験と経過や結果を共有することで、日本の漢方薬治療の可能性を探るため、今回の Web 交流会を開催する運びとなりました。

中国では、COVID-19 の治療において 74,000 人に漢方薬を使用し、効果的に病気の進行を抑え、有効性についても認識が進んでいます。

武漢での中医学治療についてはすでに各種資料にて報告され、日本感染症学会 HP には、今回のゲスト参加者である小川氏の特別寄稿も掲載されています。

http://www.kansensho.or.jp/uploads/files/news/gakkai/covid19_kanpou_0319.pdf

■開催概要・Web 交流会「COVID-19 の予防と治療における中医学の対応について」

開催日：2020 年 4 月 11 日（土） 19:00～21:00

題 名：COVID-19 の予防と治療における中医学の対応について

講 師：中国工程院院士・中国中医科学院名誉院長・天津中医薬大学学長 張伯礼医師

内 容：演者の紹介と挨拶

張先生による講演

ディスカッション&質疑応答

ゲスト（順不同、敬称略）：

小川恵子 金沢大学附属病院漢方医学科特任準教授

加島雅之 熊本赤十字病院

渡辺賢治 慶應義塾大学医学部客員教授・修琴堂大塚医院院長
高橋秀実 日本医科大学名誉教授・高橋内科クリニック院長
平馬直樹 日本中医学会会長・平馬医院院長
乾康彦 日本中医薬研究会会長・イヌイ薬局代表
猪越英明 東京薬科大学準教授・東西薬局代表
陳志清 イスクラ産業株式会社代表取締役副社長
辰巳洋 本草薬膳学院院長

司 会：陳志清、馬驥

通 訳：イスクラ産業中医学講師陣

主 催：日本中医薬研究会

協 賛：イスクラ産業株式会社

共 催：日本中医学会、日本中医協会、東洋学術出版社、日中医薬健康協会

協 力：在日中国人科学技術者連盟

※参加費無料

■イスクラ産業株式会社とは

1960年創業。日本国内における中医学の普及の先駆けとして、ロシア・CIS諸国・中国との医薬品・医療機器・化学品の輸出入、中成薬（中国漢方製剤）の製造・輸入、国内販売を行っております。1987年に組織された日本中医薬研究会の会員店舗約1000店舗の薬局・薬店とともに、未然に病気を防ぐ「未病先防（みびょうせんぼう）」を啓発し、皆様の健康づくりのお手伝いをしています。

<公式サイト：<https://www.iskra.co.jp/>>

■お問い合わせ先：

イスクラ産業株式会社 中成薬事業本部 広報一課（担当：小嶋）

〒103-0027 東京都中央区日本橋1丁目14番2号

TEL: 03-3281-3390 FAX: 03-3281-3410 E-mail: t.kojima@iskra.co.jp